

大安寺中等教育学校

この資料は、大安寺中等教育学校にて令和3年6月30日に、主として塾など教育関係者向けに配布されたものです。弊社ホームページに掲載させて頂くにあたっては、同校より許可をいただいております。

大安寺中等教育学校（以下、大安寺中）から頂いた資料を以下深読みしていきたいと思えます。

表①は、大安寺中等教育学校の、平成25年度から令和3年度入試までの倍率を表したものです。

特徴的なのは、年度によって若干のばらつきはありますが、ほぼ一貫して競争率が下がり続けていることが挙げられる点でしょう。これをどう評価するかということですが、まず、全ての児童生徒に開かれた公立中高一貫校のあり方が、一部の、学習意欲が特にあって相応に成績の良い児童生徒に質的に絞られるという、受験者層の質的変容が挙げられるでしょう。要するに、お話し受験生がいなくなったということで、実力のあるものだけが受けることで、本来の倍率に落ち着いたと言えるかもしれません。しかし、他方で、教員試験の世界では、受験者の中から優秀な人材を採るには3倍以上ないと難しい、という定説があります。これを中学受験の場合に直接当てはめて考えることはできないかもしれませんが、一応の目安ととらえると、現在の競争率3倍は、優秀な人材確保の最低ラインということになり、3倍を切ってしまうと、優秀な生徒を確保できなくなる恐れが出てき得る。

表②は、岡山4校（岡山大安寺中、岡山操山中、倉敷天城中、津山中）全体の入試平均得点です。岡山大安寺中の場合、令和3年における受験生の平均得点は、適性検査Iでは、全体の平均点である45.1点よりも「かなり上」ということです。他方、適性検査IIの40.5点よりも「やや上」ということでした。ということは、実際の岡山大安寺中の受験者の平均得点は、最低でも90点はあるということになるでしょう。しかもこれはあくまで平均得点ということですから、合格最低点となると、これよりも上ということになります。

表③は、岡山4校（岡山大安寺中、岡山操山中、倉敷天城中、津山中）全体の受験者の解答状態を表したものです。各適性検査における難易がわかります。あまりに難しい箇所に関しては、将来の問題作りに関して再考、検討されるようです。

以上

1 年度別大安寺中受検状況（県内約80校の小学校から受検）

	募集定員	志願者数	欠席者数	受検者数	受検倍率
R3年度	160	496	15	481	3.0
R2年度	160	530	23	507	3.2
31年度	160	573	18	555	3.5
30年度	160	597	8	589	3.7
29年度	160	509	5	504	3.2
28年度	160	639	22	617	3.9
27年度	160	620	19	601	3.8
26年度	160	769	15	754	4.7
25年度	160	725	20	705	4.4

2 平均点（100点換算法）岡山大安寺中、倉敷天城中、岡山操山中、津山中4校全体

	R3年度	R2年度	31年度	30年度	29年度	28年度
適性検査I	45.1	45.9	37.5	50.1	49.2	44.9
適性検査II	40.5	50.7	46.7	56.0	49.9	47.3

※R3年度で見ると、大安寺中では、適性検査Iでは、45.1よりもかなり上、適性検査IIでは、やや上になっている。

3 応答率（%）岡山大安寺中、倉敷天城中、岡山操山中、津山中4校全体

適性検査I						適性検査II					
課題	正答	部分点	誤答	無答		課題	正答	部分点	誤答	無答	
(1)	59.5	21.2	18.0	1.3		(1)	27.4	1.0	69.0	2.6	
(2)	3.8	26.9	41.3	28.0		(2)	40.2	22.6	35.3	1.7	
(3)	56.4	40.4	2.6	0.6		(3)	72.3	13.9	9.1	4.7	
(1)①	53.8	19.3	22.4	4.5		(1)	25.0	16.9	56.6	1.5	
(1)②	22.0	70.2	6.9	0.9		(2)	21.8	39.9	35.2	3.7	
(2)	32.0	41.8	26.0	0.2		(3)	14.8	57.9	13.7	13.6	
(3)	3.6	20.7	72.4	3.3							
(4)	2.6	45.9	41.8	9.7							